

平成25年 議会意見交換会 意見等に対する回答一覧

目 次

旧森幼稚園	1
米谷公民館	3
石森ふれあいセンター	5
西郷公民館	8
米山農村環境改善センター	10
錦織公民館	11
迫公民館	13
南方公民館	16
宝江ふれあいセンター	18
南方老人福祉センター	19
北方公民館	21
津山公民館	23
新田公民館	25
上沼ふれあいセンター	28
中津山公民館	30
豊里多目的研修センター	32
登米公民館	34
石越公民館	36
米川公民館	39
浅水ふれあいセンター	42
吉田公民館	44

旧森幼稚園 10月22日(火)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
災害公営住宅	災害公営住宅の家賃はいくらになるのか。	考え方は市営住宅と同じで世帯主の収入状況によって、10年間の減免措置もあります。敷金・礼金などの徴収については検討中です。
企業誘致	工場誘致における登米市の政策は。	9月議会での補正予算で企業立地投資奨励金交付限度額を引き上げたが、各自治体間での綱引きが懸念されているのが現状です。
定員適正化	財政計画の中の定員削減計画は職員のことか。	職員のことです。
道路整備	市道に砂利を敷いてもらったが量が足りない場所がある。工事後、市では確認に来ているのか。	発注した業務については、業務終了後の確認作業は行われています。ご指摘の箇所は迫総合支所において現地を確認し、既に敷き砂利の追加を行っています。
	道路が下がり、水がたまる場所が見受けられる。凍結によるスリップが心配なので確認してほしい。	ご指摘の箇所は水溜まりがある状況で、昨年12月に暫定的な水切り処理をしています。市では抜本的な改善を26年度事業で行うこととしています。
防犯灯	LED防犯灯への切り替え工事は始まっているのか。	切り替え工事は平成25年6月から着工しており、25・26年度の2年間で計6,445基の整備が行われます。今回の対象は40ワット防犯灯で、25年度2,702基、26年度3,743基の整備が計画されています。平成25年度工事のおおよその工区は以下のとおりで、残りは26年度の工事予定とされています。迫町(森、佐沼地区)、登米(寺池、日野渡、小島)、東和(米谷、錦織)、中田(石森、新井田)、石越(南郷、北郷の一部)、南方(中央部、東部)、米山(西野、桜岡)、豊里(中央部)、津山(柳津南部)
	LED防犯灯は市街地なら有効だが、農道等では光量が弱いと思う。	既設の蛍光灯型防犯灯は、光の放射がLED防犯灯より広いため、遠くから見ると明るく見えますが、路面に届く光は弱くなります。一方LED防犯灯は、道路に対して光をより集中して放射しているため、遠くから見ると明るく見えませんが、路面を照らす光は蛍光灯型防犯灯より明るいものとなっています。また、現在交換しているLED防犯灯機器が路面を照らす範囲は、規格上18メートルで、蛍光灯型防犯灯の14メートルに対し30%ほど性能が高いものとなっています。
被災者支援	震災から時間が経過しているが、更地が増えるなど全壊世帯では再建がままならないと感じている。資金面での支援はないのか。	災害による住宅再建に対する公的機関における支援としましては、①被災者生活再建支援金と、②災害援護資金の貸付の2つの支援があります。ただし、いずれも①被災者生活再建支援金で最大300万円②災害援護資金で最大250万円が限度となっており、合わせて550万円が支援の限度となっています。

		住宅再建につきましては、このように公的支援は一部に限られています。
排水機場	森腰戸の排水機場の管理をしているが、労働基準法以下の賃金しか支払って貰っていない。これでは今後、管理する人がいなくなると思うが。	他の排水機場と同水準であるが、他市の状況など、今後調査を行いたい。
	森腰戸排水機場に溜まるゴミを業者で処分してほしい。	要望として担当部署に伝える。
協働のまちづくり	協働のまちづくり事業で、掲示板の設置が決まったが、現在もお金がきていない。いつごろ予算化になるのか。	支所に確認し、交付済みです。
都市計画	赤沼・末広線沿いの開発等の計画はないのか。	現時点で具体的な計画はありません。
交通	国道 346 号線(志たかぢや)交差点の交通量が多く、森方面に右折できない。矢印信号の設置を望む。	交通量が多い時間帯は右折に時間がかかる交差点ですが、交通規制の関係もあると考えられますので、森・登米方面への時差式信号の設置が可能かどうか警察署に相談するよう市へ申し入れを行います。
教育施設	旧森小学校の草刈など、校庭管理が負担である。	旧森小学校とその校庭は、平成 26 年度から森地区の公民館施設として地域の皆さんに利用していただくことになっており、指定管理として管理していただくようになります。
文化財	森地区に神社が三社あるが、どれも老朽化が問題となっている。なんとかならないものか。	神社仏閣における支援制度は、指定文化財となっていることが原則になっています。
河川	迫川左岸堤防の管理を徹底してほしい。	要望として担当部署を通じ県に伝える。

米谷公民館 10月22日(火)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
放射能対策	米谷地区は隧道の中に汚染稲わらがある。放射能流出は大丈夫か。	稲わらはラップで被覆しており、飛散することはないという判断で実施されています。
	汚染稲わらの最終処分場は国でも解っていないのか。	国では最終処分場を県内に1カ所設置する計画であり、年度内に候補地が複数箇所提示される見込みとなっています。
災害公営住宅	災害公営住宅はいつから建設が始まるのか。	早急に始まります。東和の分の建設時期については確認して伝えたい。
	災害公営住宅の入居者が出た後、建物を売却するのか。市の住宅として貸すのか。	市としては、後の活用として被災者が希望すれば払い下げます。市営住宅が老朽化しているので、そちらの方として活用も検討しています。
市民バス	登米産業高校開設に合わせて市民バスの再編を検討しているとのことだが、どのように対処していくのか。	(仮称)登米総合産業高校開設に間に合う様に、市内約3,000戸をピックアップして再編のためのアンケートが実施される予定です。
跡地利用	米谷工業高校の跡地の利用について、市として情報は入っているのか。	県教育委員会からの情報では、米谷工業高校の跡地に関して、登米総合産業高校(仮称)のグラウンド整備が平成27年度に行われることから、それまでの間、米谷高等学校体育施設の一部が利用される予定にあります。 その後、県教育委員会での利用用途がなくなった場合、県の他部局での利用計画を確認し、予定がない場合は、地元登米市に利用の意向確認がなされることとなります。
契約	美里町では東北電力以外の電力会社から電力の一部を供給することが決定している。 登米市としても同様の可能性があるのか。	特定規模電気事業者(新電力)については今後調査、検討をしていきたい。
病院事業	米谷病院の今後について、詳しく伺いたい。	米谷病院は、一次医療機関として、医療機関が少ない地域における「かかりつけ医」として重要な役割を担っておりますが、老朽化が進んでいることから、一般病床に療養病床を加えた適正規模で、敷地内に建て替えする方向で検討が進められています。
	登米市として奨学金を受けて医師として戻って来た人と退職する医師がいつ頃逆転するのかという試算はあるのか。	議会として試算はしていません。 本市の奨学金制度は、医師不足が著しい状況にあって、県や東北大学病院と連携した医師招へい対策を補完する事業として運営しているところであり、将来的に、すべての医師が奨学金制度でまかなえる制度ではありませんが、29年度までに10名を超える医師が勤務する見込みとなっています。
	医療機器も最新のものを導入する必要があるのではと思うが。	市民病院では高額な医療機器や耐用年数により更新する機器が数多くあるため、医療器械備品購入検討委員会において、医療機器の更新や新規購入の

		検討を行い、順次、機器導入が進められています。議会としても調査を行っており、今後の医療機器の更新や新規購入についての取り組みを進めていきます。
防災	今後、総合支所が縮小された場合、防災パトロールはどういう位置づけになるのか。また、防災体制をどの様にやるのか。	防犯パトロールについては、総合支所の体制にかかわらず、防犯活動の一環として、これまでどおり必要に応じて地域ごとに行うこととなりますが、より一層効果が上がるよう議会としても監視に努めます。また、防災計画を見直したばかりであり、他自治体の取り組みも参考にしながら今後、検討していきたい。
三陸道	三陸自動車道が完成しても登米東和インターから志津川方面には行けないし志津川方面からは降りられない。 登米東和インターの志津川方面の乗り降りが実現できるようにお願いしたい。市長から請願書を提出したと聞いている。その後の情報はあるのか。	市では国との会議の場において要望書を提出し整備をお願いしているところですが、今後も施設整備の必要性について国に対し強く要望していくとのことです。
定住対策	市として定住促進に向けての方策はあるのか。	働く場所を確保する雇用対策が重要と考えます。
空き家	空き家や空き地の有効活用の方策はあるのか。	空き家バンクを実施しています。 また現在、空き家対策として、議会で「空き家等の適正管理に関する条例」の制定を目指しています。

石森ふれあいセンター 10月22日(火)

意見交換会での質問・要望に対する回答

区分	質問・要望等	回答
放射能対策	汚染稲わらは、そのままにしておいたらそのままになってしまう。福島原発の被害だから、福島県に責任を持ってもらいたい。こちらは被害を受けたのだから。女川が被害を受けたら、県や国が被害を受けたものは全部引き受けてもらいたい。	県内で発生した汚染廃棄物は県内での処理とされています。
総合支所	総合支所のあり方はどう考えているのか。	市民サービスが低下しない事を前提として、本所と支所のあり方、財政負担について考えていかなければいけません。 今後の財政状況を考えると縮小せざるを得ないと思いますし、何らかのよい仕組みを作る必要があります。市も議会も考えている段階です。
	方向性が変わるのはいつ頃か。総合支所ではなく、別の名称になるのか。市民の意見を聞きながら、合意のもとに進めてほしい。簡単にお金がないからというのではなく、どこに重点をおいて考えるべきかだと思う。	総合支所のあり方を含め、市の方向性の全体像を示すように働きかけていきます。
協働のまちづくり	協働のまちづくりについて、前は隣り近所助け合ってやっていた。それを個人情報だと壊しておいて、また協働だと言っても無理。3・11の時、地元では200人の避難した人たちがいたが、米や野菜を持ちより、市の職員がいなくても動き出せた。お金がない割には、無駄なことばかりやっているのではないか。職員が余っているのではないか。	担当部署に伝える。
病院事業	病院と下水の赤字は大きな問題だ。病院の看護師は、大奥のようになっている、先生たちを顎で使っているんじゃないか。救急病院も、すぐ日赤や大崎に回される。	病院の経営状況については、累積で赤字となっておりますが、平成23年度において純利益を計上し、25年度で不良債務が解消できる見込みであり、経営状況は改善されてきております。 他の病院へ転院する患者さんにつきましては、脳疾患や心疾患など専門的な治療が必要な場合など、患者様の症状により医師が判断をしているものです。 また、市民病院では、元婦長が臨時で勤務し、若い看護師のサポートにあたっています。経営的に改善の方向に向かっていて、良くなってきていますので、悪口だけを言うのではなく、市民みんなで応援していくことが大事だと思います。

	宮城県の医療計画を考えたら、地理的なこともあるので、医師をきちんと増やしていくべきと思う。産婦人科・小児科もないようでは、若い人は集まらない。県に要望してほしい。	今後とも積極的に要望してまいります。
医療費助成	子どもの医療費は、せめて栗原市と同じようにしてほしい。	登米市では、予防医療に重点をおき、疾病の早期発見や重症化させないことが、子育て家庭における経済的支援策にもつながるものと考え、乳幼児健診の充実や、予防接種の無料化等が図られています。また、平成 26 年度から受給者の経済的負担と助成申請手続きの利便性の観点から、医療機関において患者一部負担金を支払わない現物給付方式による助成が行われます。なお、子ども医療費助成制度は本来、社会保障制度の一環として国が行うべきものであるもので、国・県に対して、制度の創設や拡充を今後も要望してまいります。
農業振興	浅水の育苗センターの予算が削減されているのか。市から離れて独立したようだが、採算ばかり考えて、農業が基幹産業ということから外れてきているのではないのか。	補助金の関係で、市や農協の株主の出資割合が 50%をきりましたが、自立できるよう、見守っていきたい。
	中田町はまだ圃場整備をやっていない所がある。予算がないと言われ維持管理に苦労している。維持管理費を削減しないで、補助を増やしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
小中一貫	石越小・中学校は小中一貫校になるのか。その進め方として、子どもたちにとって本当にいいのか、働く先生たちにとってもいいのかをしっかりと検証して進めるべき。	豊里小中学校のような教育課程特例校としての小中一貫教育校は、石越小学校・中学校では考えられておりませんが、新学習指導要領により、小中の連続性をこれまで以上に意識した指導が求められていることから、議会として一貫教育の在り方を調査研究していきます。
道路整備	市道新堀 2 号線の歩道設置工事。道幅 4 メートルという説明だが、5 メートルにしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
防犯灯	防犯灯を設置してほしい。	防犯灯の新規設置につきましては、各総合支所で要望をとりまとめて、市民生活課と土木管理課、総合支所合同で現地を調査し、必要度、緊急度により優先度の高いものから設置されています。防犯灯新規設置の要望がございましたら、お住まいの総合支所にご相談いただきますようお願いいたします。
原発	女川原発について、次の世代の子どもたちの健康を考えたら、本当に必要なのか。議会の中でも詰めてほしい。どう	登米市としては、また、議会も含めて女川原発の再稼働は認められないという立場です。既に各関係機関に意見書も送付しています。

	いう方向に持っていくのか、もっと 原発について考えてほしい。	
学校給食	学校給食が安心して食べられる ように（滞納などで子どもたちが 後ろめたい気持ちがないように） 中学校まで無料にできないか。 それが無理だったら、半分に減額 できないか。北欧では、学費と医 療費は無料になっている。子育て 支援は、現物給付にすべき。	学校給食法では、学校給食の実施に必要な人件費 や施設設備以外の経費は、給食を受ける児童・生徒 の保護者の負担とすると規定されていますが、経済 的な理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対 しては、就学援助制度により給食費などを支援して いますので、すべての保護者を対象とした減額や無 料化の取り組みは行っておりません。

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
定員適正化	定員適正化計画は、職員数をどの位減らすのか。	今後、平成28年度までに、110人程度を削減する見込みです。
指定管理	指定管理制度下では、接客態度など悪くならないか。	人的な配置も含めて考えていかなければいけません。 なお、サービスが低下しないよう又施設の管理運営が適正に行われているか確認のためモニタリングが実施されています。
	指定管理制度のメリット・デメリット、今後の取り組みは。	民間のノウハウを活用することで、効率的な施設管理やコミュニティ団体による地域づくりの推進に期待できることです。 今後は制度導入効果の検証実施などが必要です。
総合支所	本庁機能を充実していくということだが、支所はどうなっていくか。	支所のあり方や機能については、本所も含め今後検討していくことになります。
財政	市債が1,000億円程あるが、どう対応していくのか。	特別会計も含め、経費削減に努め健全な財政運営をしていかなければいけません。
議員定数	今、人口減が進んでいるが、議員数は減らしていかないのか。	議員定数は、合併前153人(定数154人)から合併後に48人、平成21年4月には30人、平成25年4月に26人へ削減しました。 今後、議員定数については、社会情勢の変化や登米市議会が果たす役割等を踏まえ、市民の声も聞き、検討することになると思います。
まちづくり雇用	まちづくりや雇用創出はどのようにしていくのか。	協働のまちづくりは、各地区コミュニティ組織で策定する「地域づくり計画」を基本とし、市民、市、議会が協働して進めていくことになります。 また、推進策として「地域づくり計画」に登載され、地域の課題解決や活性化を目的とした事業実施のために交付する交付金制度について検討されています。雇用創出については、企業訪問をしたり農業の6次産業化に取り組んでいきます。
総合計画	イベントや予算・施設においても迫町だけ合併の恩恵を受けている。他町の人々も合併してよかったと思われる政策をして欲しい。	担当部署に伝える。
保育所	認可保育園が足りない。保護者が職についてないと園に入れないのはなぜ。	近年、登米市では保育所への入所希望者数が増加傾向にあるため、私立保育所の入所定員の拡大を図っておりますが、待機児童も増加傾向にあります。 保育所に入所できる児童は、養育者の就労などによって十分に家庭での保育ができない児童が入所対象となっており、養育者が就労されている家庭が優先されますが、求職中の方につきましても、施設の空き状況によっては入所も可能ですので、その都度、市ではご相談に応じています。 なお、議会としても、子育て支援の観点から待機児童の解消など環境整備に努めます。

環境衛生	登米市のゴミ袋は 50 円だが、他市町より高いのではないか。	市では、平成 9 年 4 月から、県内で初めてゴミ袋に処理手数料を賦課するゴミ処理の有料化制度を導入して、資源ごみは無料、一般ごみの処理については有料としています。 この制度は、財政負担の軽減ばかりでなく、公平性の観点から各家庭からのゴミ排出量に応じたゴミ処理に対する価格付けとなっており、指定袋を購入することによってゴミ処理費用の一部を負担していただくとともに、資源ごみの分別排出に努めていただくことで、ゴミの減量化を推進していくものとなっています。 登米市の場合、40 リットル入りの指定袋は、1 枚 50 円で販売していますが、製造、販売に係る経費を除く 1 枚当たり約 34 円相当がゴミ処理経費に充てられています。 県内では、ゴミの有料化は、仙台市が平成 20 年 10 月から、仙南広域行政事務組合が平成 24 年 7 月から実施しておりますが、本市の 40 リットル入り指定袋は 1 枚 50 円、仙台市の 45 リットル入り指定袋は 1 枚 40 円、仙南広域行政事務組合の 45 リットル入り指定袋は 50 円となっています。それぞれ処理費用の相違や袋作成枚数の関係などから単価の開きがあります。 なお、他の自治体等でも、ゴミの袋を指定しておりますが、これはゴミの有料化を行わないで、袋の実費相当の金額で販売されているものです。議会としても、市が取り組む「ゴミの有料化」について、今後とも実態を調査し検討していきますので、ご理解をお願いいたします。
政務活動	議員の視察は遠くまで行っているが、役立っているのか。	委員会で政策提案に結びつくテーマを決めて視察場所を選定し研修しています。新規事業や予算の有効活用、経費削減などを市に提言しています。 今後も市民に役立つ具体的な提案ができるよう努力します。
	政務活動費は、適正に使われているか。	自治法の改正で、議長は政務活動費の使途の透明性の確保に努めることが明文化された。 登米市議会では領収書等を添付した収支報告書の提出を義務化しています。その内容について、議長の調査、市民の閲覧やホームページでの使途の公開などを実施して、適正な執行と透明性を確保しています。

米山農村環境改善センター 10月22日(火)

意見交換会での質問・要望に対する回答

区分	質問・要望等	回答
総合支所	総合支所の職員が少ないので何もできないというのは口実であって、もっとまちづくりが出来るよう努力してほしい。	担当部署に伝える。
跡地利用	登米総合産業高校開校に伴う米山高校の跡地利用は。	米山高校の跡地利用については、まだ決まっていません。
指定管理	各公民館にそれぞれ体育施設が存在するが、指定管理者がまちまちでやりにくい。 その辺の統一性を要望する。	隣接する施設が複数の管理者となっている場合、両管理者の協議により利用者に不便をきたさないよう調整されています。
財政	財政が心配。	財調、減債基金、公共物修繕基金等で備えながら、財政規模を小さくしていく努力をしていると見受けられます。
公共施設統廃合	指定管理も含めて、公共施設の統廃合を早く。登米市の将来が見えない。	生涯学習施設については、公の施設適正配置計画及び社会教育施設の再編基本計画により、施設の統廃合が計画されております。 今後の学校の在り方については、将来の児童生徒数の動向も踏まえ、これから策定される第二次統合計画の中で、統廃合等を含め、学校の整備方針が定められていきます。
上・下水道	震災時電気がこないと思うが、上下水道施設等への対応、考え方は。	上水道は末端へ行き渡るよう配水池施設の計画をしています。下水道についてはバキューム等で対処する部分もあるが、あまり問題はありません。
議会意見交換会	意見交換会の参加者が少ないが、その原因は。	色々な周知はしているが、特に動員はしていないので現実には少ないのが現状であります。
職員旅費	公務員の支度金廃止に対する本市の考え方は。	登米市も海外旅費の支度料は廃止の方向で進めています。国内分の支度料はありません。
定員適正化	手が足りないことに対する客観的評価方法を。新しい時代に合ったやり方を実施し、地域の新しい未来を切り開いてほしい。	担当部署に伝える。
図書館	図書館の整備を。利用している子ども達が可哀相。栗原市は素晴らしい。登米市は教育に力を入れているのか。 検索システムも使い勝手が悪い。	図書館の整備については、現在、市民が気軽に利用できる図書館を目指して図書館整備構想の策定が進められています。
まちづくり	視野の広い若人がたくさんいるので、若い人達の意見を取り入れてほしい。	担当部署に伝える。
市政モニター	市のモニターの意見の活用と、その反対意見等も尊重して町の活性化、考え方の発想の転換を。	担当部署に伝える。

錦織公民館 10月23日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
消防	消防東出張所の移転に伴う用地買収費は当初予算に計上されているのか。 移転予定地の隣家に精神的弱者が住まいしていて、地元民で支えている。そういう事情もあるのだが、説明会がないまま進んだことを残念に思っているが。	平成25年度当初予算に計上されています。 説明会につきましては、7月22日に開催しています。 地権者から同意を得られた後ということでこの時期になっています。 また、移転予定地隣の住民の方にも直接説明し御了承をいただいている状況です。
	計上されているというが、地元は何ら説明がなかったのはどういうことか。 議会として説明会を開くべきではなかったか。	
	市からの錦織地区全体への説明会は7月に入ってから。 その時、初めて移転地の場所を知ってびっくりしている。 また、地主は退職市職員だが、売買契約が成立したときは現役だった。インサイダー取引ではないかとの噂も耳にする。錦織地区には他に市有地があるが、なぜ検討せず、決定したという「あの土地ありき」で進んでいるのか。おかしい決まり方だ。	平成25年度に入ってから交渉が始まり、売買契約が成立したのは平成25年12月となっています。 東出張所につきましては、急傾斜地崩壊危険区域に所在していることから、現在地からの移転整備とするものでありますが、移転候補地の選定に当たっては、 ①災害場所へ概ね10分程度で到着できる区域を拡大できるところ、 ②洪水ハザードマップの浸水地域域外等の震災、豪雨等の大規模な自然災害等への万全な対応が可能であるところ、 ③防災拠点として多方面への出場が可能となること、市民の目にとまり火災予防の注意喚起が図られること等から、国道など幹線道路に面しているところ、 更に、敷地面積は建物規模が概ね500㎡、配置車両は消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、査察広報車各1台を配備することを考慮し、概ね1,500㎡から2,000㎡とし、これらの条件を基に選定されています。
	地方交付税が減額されていく中、民有地を買収するのではなく、市有地を活用しながら事業を進めるのが筋ではないか。 解体予定の旧錦織公民館跡地は検討すべきではないのか。	旧錦織公民館跡地は敷地面積が狭隘であるため、周辺宅地などを取得する必要がある、用地買収の費用が多額になることが見込まれなど不適と判断されています。
集会施設	錦織公民館が解体されると城内地域に集会所がなくなる。300万円でプレハブ集会所を建てることは可能か。 また、跡地は売却するのではなく何らかの形で公共施設に使って	集会施設を新築する際の補助制度として「登米市集会施設整備事業補助金」があります。 交付額は1㎡当り9万円に延べ床面積を乗じた額又は建築事業費のうちいずれか低い額の4分の1以内の補助となっており、300万円が限度額となっています。

	ほしい。	また、跡地は公共施設用地として利用する予定はありません。土地は、財源確保に向けて売却の方向で検討されています。 なお、町内会から要望のある防災倉庫の建設用地は確保する予定とのことです。
	指定管理になっている機織浪漫館が災害による地盤沈下で使用不可が続いている。早く改修してほしい。	震災以前から地盤沈下が発生しており、震災で沈下が進んだようですが、地盤沈下による建物への影響はほとんど無く使用できる状態にあります。 また、地盤沈下の補修については検討が進められているところです。
環境衛生	アメリカシロヒトリの駆除について市の対策は。	市のアメリカシロヒトリ駆除対策については幼虫の捕殺駆除を基本としており、樹木全体に広がった場合は、環境にやさしい生物農薬による駆除を推進してきました。 また、チラシの全戸配布や、登米コミュニティFMを利用した駆除の周知、防災行政無線で駆除の呼びかけが行われてきました。 今後においても、市では捕殺駆除を基本とした取り組みが推進されていきますが、その徹底が図られるよう議会としても監視に努めます。
雨水排水	近年の豪雨により錦織地区(こしちやさん付近)は浸水被害が発生している。現地を見てほしいし、改善を求む。	市では現地を確認のうえ、国道を管理する宮城県に要望内容を伝えたところ、現地確認のうえ対応したいとの回答を得ています。
入札	民間事業者の仕事の拡充で、小規模工事登録制度があるが、どのくらいの活用がなされているのか。	平成24年度では登録業者数延べ22業者、工事件数188件、発注金額で約9,482,000円となっています。
市有財産	公民館の跡地は市民が善意で市に売却した土地なので、安易に売ってほしくない。公共的な利用を望む。	担当部署に伝える。

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
財政	財政調整基金の残高が膨れてきている。懐(ふところ)の裕福さは町の豊かさではない。 今すぐ、お腹のすいた人に、分け与える施策ができないのか。	担当部署に伝える。
市営住宅	市営住宅の中には、耐震など、建築基準法を満たさないものや老朽化したものがある。 解体して、跡地を売却するなど市の財源として活用しては。	提言として拝聴する。
学校備品	当初予算の中の「小中学校用コンピュータ更新事業」について導入する学校は決まっているか。	計画的に更新しています。 新年度更新予定の小学校については、佐沼小学校と新田小学校です。中学校については、佐沼中学校、登米中学校、南方中学校が予定されています。
学校施設 震災復旧	「石越中学校災害復旧事業」について、卒業式までに完成するのか。	工事は年度内完成を目指していますが、完成後は工事完了検査のほか、消防設備など、施設の機能面の各種検査が予定されており、3月上旬に予定されている卒業式を新しい校舎で実施することについては、難しい状況にありますが、新しい体育館で実施できる見込みです。
定員適正化	総合支所のあり方だが、迫総合支所の人員が不足ではないか。 総合支所の人員の適正化を図るべきだ。	担当部署に伝える。
災害公営住宅	災害公営住宅を退去(使用)後の活用は。	被災者に払い下げる方法と市営住宅としての活用を検討しています。
	災害公営住宅の予定地は決定しているのか。	ほぼ、決定しています。
道路整備	登米総合産業高校へ向かう市道は、大型トラックの往来があり、事故の発生が心配されるので、改良を要望する。	要望として担当部署に伝える。
総合計画	第2次総合計画策定にあたり、これまで、1次計画の進捗と成果は検証されたのか。市民にその結果を示し、新しい計画の策定に望むべきでないか。	現在、第2次総合計画の策定にあたり、新たな計画策定に向けた取組がより充実したものになるよう、第1次総合計画の検証が行われています。 検証結果については、今後、総合計画審議会で検討後に公表される予定です。
	「人間の安全保障」というテーマで総合計画に反映させてほしい。	担当部署に伝える。
空き家	空き家が増加している。有効活用と対策は。	空き家バンクを実施しています。 また現在、空き家対策として、議会で「空き家等の適正管理に関する条例」の制定を目指しています。
	火災など防犯上の不安があり、地域とともに見守りたい。空き家対	担当部署に伝える。

	策のためのプロジェクトをつくり、市民とともに、協働で取り組んでほしい。	
	空き家利用の課題は、生活の利便性である。これからのまちづくりは、小さい集落的なコンパクトシティであり、その中に、公共施設を一体化する構想をすすめてほしい。	担当部署に伝える。
雨水排水	佐沼大東地区の雨水排水対策について、事業を変更する理由は何か。	調査の結果、近頃の集中豪雨に対応できないことが分かったことから、大東公園の地下に貯留池を整備した方が有効と判断したこと、新たに国から補助金(2分の1)が見込めることであります。
	佐沼大東地区の排水対策で水害が完全に解消できるのか。	どの方法が有効なのか、議会としても十分調査していきたい。
	大東地区ならず、豪雨のたびに冠水する地区がある。しっかり現場を確認し、対応してほしい。	要望として担当部署に伝える。
河川改修	佐沼市街地が冠水すれば、すべての機能が失われ、とても心配である。長沼川の改修は、平成40年度の完成予定だが、早期完成を働きかけてほしい。	要望として担当部署を通じ県に伝える。
少子化対策	少子化による人口の減少が最大の課題である。議会ですらほとんど少子化について議論されていない。子育て支援など、対策に力を入れてほしい。	議会としては、本会議での代表質問や一般質問をはじめ、議案審議さらに各常任委員会活動において、積極的な議論が行われておりますが、今後も一層の対策の充実に努めます。
広報紙	広報「とめ」について、2カ月に一度は誤りがある。広報が届いた以前の(過ぎた)計画が掲載されている。カラー印刷で、財政難を感じさせない。1カ月に2回発行が妥当か検証が必要だ。	担当部署に伝える。
市民サービス	市役所への連絡のため、メールを活用したい。担当課のアドレスを表示できないか。	登米市役所ホームページの「市の紹介」の中の「市役所案内」に掲載されています。
ひとり暮らし	ひとり暮らしなど、緊急時連絡システムの導入を進めてほしい。	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の対応につきましては、「ひとり暮らし老人等緊急通報システム整備事業」により、ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等を対象として、日常生活上の安全確保と精神的な不安解消を図るため、緊急通報機器を貸与しコールセンターと電話回線で接続することにより、緊急事態に迅速な対応できる体制整備が行われています。 設置につきましては、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会定例会など関係機関への周知やコミュニティFM(はっとFM)での情報提供が行われ、希望する対象者からの申請に基づき設置が行われております。

議 会 意 見 交 換 会	議会意見交換会の参加者が少ない。魅力がないのでないか。もう少し、身近にひざを交え、話し合う方法が良い。行政区の集まりに出向く方法もある。	ご意見として拝聴する。
	意見交換会には、やはり地元の議員が出席するのは当然と考える。地域の課題なのだから。	

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問 ・ 要望等	回 答
協働のまちづくり	協働のまちづくりの各町 100 万円の使い方に疑問がある。 無駄になっていないか。毎年同一団体に交付されているように思う。大きな団体だけでなく、小さな所にも配慮すべき。	支所ごとに設置された「地域づくり委員会」が事業を評価し決定しています。対象団体は構成員が 5 人以上であることや、組織に関する規約又は会則を定めていることなどが要件になっています。
定員適正化	地域づくりというが、市の職員が減らされ、業務が増えている。 いろいろな団体があるが、それを動かすのは職員だと思う。人的配置、予算配置を。団体も整理統合、見直しの時期では。 コミュニティは協働のまちづくりの最たるもの。	提言として担当部署に伝える。
病院事業	一般会計から 19 億円も病院に繰出しているが、どういう経営状況なのか。	病院事業への繰出金は、地域医療の確保など、市立病院、診療所が担っている役割に対して、地方公営企業への繰出基準に沿って行われ、繰出した一般会計においては、国の財政支援がなされる制度となっております。 病院事業の経営状況についてですが、平成 23 年度、24 年度と純利益を計上するなど、目標である不良債務も計画どおり解消できる見込みです。
	最近医師、看護師の評判が良くなったが、中には不信感を抱かれている医師もいるが。	不信感を抱かれることのないよう、患者さんとのコミュニケーションを図り、病院の基本方針にある「笑顔と思いやりをもって患者さんを癒す」よう努めていくことです。
	市民病院は救急病院であるのに対応が悪い。そこを良くすれば、患者さんも増えるのではないか。	ご質問のとおりであると感じています。 救急の対応は、大学病院から応援をいただきながら医師 1 名体制の現状ですが、小児科や高度で専門性が求められる症状に関しては、石巻赤十字病院や大崎市民病院などとの機能連携をより確実なものとし、救急体制の充実を図っていく考えです。
	市民病院で訴訟沙汰になっているようだが。 病院の診察が終わってからの待ち時間を短くしてほしい。	裁判中であるため、詳しい内容は示すことができませんが、和解の方向で進めていく考えです。 26 年度に市民病院と登米診療所に電子カルテシステムを導入され、会計計算時間の短縮を図るなど、患者さんの待ち時間が短くなるよう努めていくとされています。 議会としても電子カルテに期待すると同時に現場の実態を検証していきたい。
指定管理	南方公民館は3館あるが、1 つの協議会でやっているので職員は大変である。報酬を上げては。	3 館を同一で管理運営することは、単体の館を管理運営するより効率化が図れることから、その手法について、現在、協議会と調整が進められています。

介護施設	介護施設が増え、小さい施設ほど利用者が少なく苦しんでいる。介護士も不足している。療養型ベッドを増やしてほしい。	介護施設の人材確保については、国の緊急雇用創出事業により、介護資格取得の補助事業を介護施設へ委託し取り組まれてきたが、募集しても応募が少なく介護員の確保が難しい状況にあります。 平成 27 年 4 月、市内に開校される総合産業高校に福祉系の学科が設置されることから、新たな介護職場の人材創出につながるよう期待をしているところです。 療養型病床については、現在、市の医療局であらたに米谷病院に療養病床を整備する検討が進められておりますが、議会としても医療環境の整備について一丸となって努めていきます。
人事 指定管理	公民館のトップは地元の人を。支所長、課長も同様。	公民館の館長の採用は、管理運営するコミュニティ組織で行っていますが、採用に当たっては、地域に精通した地区内からの採用を進めています。
学校施設	佐沼小学校のプールは、国道・市道から丸見えなので対処しては。	プール授業や管理上、特に目隠しが必要と思われる個所については、学校の実情や要望を聴き、通気なども考慮しながら整備が行われています。 佐沼小学校プールは国道から距離があることもあり、現在のところプールの使用に当たって特に支障はないと考えています。

宝江ふれあいセンター 10月23日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
病院事業	米谷病院の今後はどうなっていくのか。	米谷病院は、一次医療機関として、医療機関が少ない地域における「かかりつけ医」として重要な役割を担っておりますが、老朽化が進んでいることから、一般病床に療養病床を加えた適正規模で、敷地内に建て替える方向で検討が進められています。
	市民病院の近くから救急で電話したが、対応してくれない。	ご質問のとおりであると感じています。救急の対応は、大学病院から応援をいただきながら医師 1 名体制の現状ですが、小児科や高度で専門性が求められる症状に関しては、石巻赤十字病院や大崎市民病院などとの機能連携をより確実なものとし、救急体制の充実を図っていく考えです。
	市立病院の整形に行ったが、紹介状が必要と断られた。	登米市民病院の整形外科では平成 23 年 4 月以降、初診の患者さんや手術件数が大幅に増えたことに加え、慢性期の外来患者も依然多くかかえていたため、手術や入院治療に少なからず支障が出るようになりました。そのため、同年 7 月よりやむを得ず、緊急を要さない患者さんにつきましては他の医療機関での受診をお願いし、手術や入院等が必要と診断された患者さんについては紹介状をお持ちいただくこととしたというものです。 もちろん、救急対応につきましては、いつでも受入れするとのことです。議会としても医師招へい対策について議論していますので、ご理解をお願いします。
指定管理	市内の福祉施設まで指定管理になるのはいかがか。	実績と経験のある事業所を、一定の審査基準に照らして選定されておりますので、安心して任せられると考えています。
住民バス	館地区を走る住民バスには乗車している人が少ないが。	住民バスの路線については、各総合支所で区長さんや地域住民の要望をもとに設定されています。また、路線は年度替わりなどで見直しを行っている状況です。
防犯灯	宝江小学校からの防犯灯が少ないので、対応してほしい。	防犯灯の新規設置につきましては、各総合支所で要望をとりまとめて、市民生活課と土木管理課、総合支所合同で現地を調査し、必要度、緊急度により優先度の高いものから設置されています。 防犯灯新規設置の要望がございましたら、お住まいの総合支所にご相談いただきますようお願いいたします。
道路整備	町区の道路が直角に曲がっており、危険なので対応して欲しい。	要望として担当部署に伝える。
総合支所	各支所の窓口には地元の職員を配置して欲しい。 支所長にもっと権限を与え、即決できる体制にして欲しい。	要望として担当部署に伝える。

南方老人福祉センター 10月23日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回答
財政	市の財政見通しは。市民とその情報を共有していただきたい。	交付税等が減額していく中で、財調等の積み増し等でそれらに備えています。 また、職員にも財政状況の意識付けをしていきます。
	基準財政需要額は。	平成24年度は約270億円です。 (基準財政需要額とは普通交付税の算定に用いるもので、地方自治体が標準的な行政を行う際に一般財源の所要額を表したもの)
総合支所	適正総合支所数と職員適正数は。	その地域により適正数は違います。現在の総合支所は、15人～34人体制で実施しています。 将来的な支所のあり方や支所の数、職員数については、今後検討していきます。
協働のまちづくり	協働のまちづくりは部局により温度差があると思うが、議会では承知しているか。	委員会や議会の中でしっかり対応していきたい。
企業誘致	企業誘致における中で、正規雇用を目指してほしい。	正職員としての採用を企業にお願いしております。
病院事業	病院電子カルテの財政効果は。	業務の効率化や省力化により医業収益につながることもあるが、基本的には待ち時間短縮など患者へのサービス向上が狙いです。
議員定数	借金を返すために職員削減だけでなく、議員もその模範を示すべきでは。	議員定数も4人削減しています。
少子化	少子化による人口減少対策を講じているのか。	議会としては、本会議での代表質問や一般質問をはじめ、議案審議さらに各常任委員会活動において、積極的な議論が行われておりますが、今後も一層の対策の充実に努めます。
婚活	結婚しない男性が多い。そのことも含めて子供が増える環境づくりが必要と思うが。	意見として担当部署に伝える。
コミュニティ	町域行事にコミュニティが多く参画させられるので、苦慮している。財政的にも厳しいが、そのことをどう考えているのか。	地域活動の活性化を図る一端として事業を連携する視点で協力をいただいておりますが、議会としても役割分担を明確にし、コミュニティ組織の負担軽減を考慮していきたいと考えます。
政務活動	会派の視察研修等、その目的がどのように反映されているのか説明してほしい。	議会の際、執行部への質疑等に活用しています。
防災無線	防災無線が聞きづらいので改善してほしい。	要望として担当部署に伝える。
指定管理	指定管理者制度については、経費の削減・節減なのか、それとも市民サービスを目的としているのか。	民間の能力を活用し、市民サービスの向上を図るとともに、経費の縮減などを図ることを目的としています。
	南方コミュニティ運営協議会を登米市のモデルにしたいと執行部	南方地区内の3公民館を南方コミュニティ運営協議会で受任することは、単位コミュニティ組織でそれぞれ

	側が言っているが、その後どうなったか。	れを受任するより効率的な運営が図られることが、他の地区のモデルとなり得ると考えています。
	指定管理者の職員の賃金改善の発言があったが、その後の経過は。	公民館の職員については、一定の基準で統一されています。指定管理施設の職員の賃金については、すべての指定管理施設に関係するものであるため、現在検討されております。
	指定管理の職員は若い人が多いが、退職金がない。そして、5年契約ということは、若い人の将来にとって好ましくない。	公民館の指定管理は、5年間の協定により委任していますが、非公募としているため、適正な管理運営がなされていれば期間は更新されることとなります。退職金につきましては、退職金制度に加入し、対応するか否かは、指定管理受託団体側での意思決定によるものと考えています。
	南方コミュニティ運営協議会として、職員を1名増員してほしい。	本来3館を同一で管理運営することは、単体の館を管理運営するより効率化が図れることから、増員は難しいと考えます
	コミュニティ組織の就業規則を独自で作らせてほしい。	コミュニティ組織の就業規則は、当初に単独で策定することが困難であることから、基準形を示しているもので、指定管理の範囲内で委託内容と実情に合わせて改正している団体もあり、その場合は、教育委員会にその情報を提供することとされています。ただし、職員等の処遇面については他の施設との不均衡が生じないように、協議をお願いしています。
	コミュニティに運動会、秋祭り等も委託されているが予算が削られている。	委託料については、平成19年度に見直しが行われ現在に至っています。一括交付金の創設に合わせて調整していきたいと考えています。
	同敷地内施設利用において、管理者が違うため苦慮している。	同一敷地内に施設が隣接している場合は、複数の管理者が存在することになりますが、共有部分の利用については両管理者が協議し、利用に関する取り決めを行うよう指導されています。
議会意見交換会	市債残高は一般会計だけでなく、その他の会計についても説明すべきと思うが。	説明資料については、検討していきたい。
	今後もこの意見交換会を続けてほしい。	要望として拝聴する。
	意見交換会に各家庭から1名位ずつ出てほしい。	要望として拝聴する。
議会だより	市議会だよりは素晴らしい、敬意を表したい。	
防災	災害時の行動シミュレーションを作してほしい。	要望として担当部署に伝える。
—	国保税額の引き下げを公約にしている議員がいるが、実現していない。	

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
道路整備	道路整備事業の優先順位はどう決められているのか。	市では路線評価の高い順に整備を進めています。 なお、新規要望路線は路線評価を実施したうえで年次計画に搭載する予定としています。
	平成元年に県立支援学校ができた時、道路(大洞線)を拡幅する案が出され、平成 15 年に着工が決まったはずだが、合併により延期となっていた。 しかし未だに未着手である。退職した登米市建設次長に“実施不可能となった”と言われた。市政に対し不信感がある。	要望として担当部署に伝える。
	道路改修などの順位は数値化するなどして明確にしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
病院事業	先日、市民が登米市民病院を提訴したとの新聞記事を読んだ。 市民病院医師の対応に我慢できずに提訴したという。 また、市民病院にかかって死にそうになったという話も聞く。議員への報告はあったのか。	医療ミスではなく、医師の対応や態度に対しての提訴であった。訴状をよく見て対応するとのことなので、議会としても進行状況を注視していきます。
	奨学金を利用した若い医師が勤務しているが、若すぎて信用できない。また、市民病院には若い医師を教育できる医師はいるのか。	奨学金制度を利用し、市民病院に赴任した実績は 1 名です。医師免許取得後、初期臨床研修の 2 年を経て勤務していますが、内科長が教育を行っており、週 1 日の研修日を設け仙台医療センターにて研修を受けて知識と手技の習得が行われています。
	他の病院では診察室は個室化されているが、市民病院は個室化されていないため、患者の病名などのプライバシーが聞こえるなど筒抜けである。 守秘義務はどうなっているのか。	現在、試行的に中待合室を使用せず、外待合室から直接診察室に入らせていただいています。 その結果をふまえて改修の必要性を判断するとされており、議会としても改修の必要性を検証したいと考えます。
	診療室の個室化については強く要望したい。	
	平成 22 年に病院改革懇話会があり民営化、独法化の話が出ていたがどうなっているのか。	平成 22 年度に開催された病院のあり方懇話会において、平成 23 年度までに医療体制の確保や収支の改善が見いだされない場合は、独法化へ移行すべきとの報告がありましたが、経営改善実施計画に基づく経営の健全化対策の着実な実行により、平成 23 年度において、単年度黒字になったほか平成 25 年度で不良債務が解消できる見込みとなっています。 このことから、今後とも、地方公営企業として運営していくこととされていますが、情勢の変化によっては、民営化や独法化も視野にしていけることが必要と認識さ

		れています。
	市から病院へいくら資金を出しているのか。また、市民はどの程度、他の病院へかかっているのか。	平成 24 年度決算で、市から病院へ 2,064,016,000 円を支出しています。 市民の受診状況は、市民病院が、外来では 15%(市内の医療機関全体では 73%)、入院では 19%(市内の医療機関全体では 26%)を占めています。 市外の医療機関については、外来では仙台市 5%、大崎市 4%、石巻市 6%、栗原市 7%、その他 5%、入院では仙台市 24%、大崎市 16%、石巻市 14%、栗原市 8%、その他 12%となっています。 (平成 24 年 6 月診療分国保レセプト件数による調べ)
	定年退職した職員が参与として病院に戻ってきたが、いわゆる「できる人間」なのか。	参与については、平成 23 年 3 月に医療局次長として退職し、東日本大震災後、南三陸町の医療の復興に尽力してきました。 その知識と手腕を評価するところであり、今後とも登米市の医療の向上、特に地域医療体制整備に期待するところであります。
総合支所	総合支所の身障者専用駐車場にどう見ても健常者だと思われる市民が駐車している。 庁舎案内所で「駐車許可証」などを発行するなどの対策が必要だと思うが。	担当部署に伝える。
協働のまちづくり	協働のまちづくり計画はどのような方向性でどのように利用すべきものなのか。	協働のまちづくりは、各地区コミュニティ組織で策定する「地域づくり計画」を基本とし、市民、市、議会が協働して進めていくことになります。 また、推進策として「地域づくり計画」に登載され、地域の課題解決や活性化を目的とした事業実施のために交付する交付金制度について検討されています。
	「協働」という漢字が気に入らない。	意見として拝聴する。
防災	防災行政無線の時報がずれているのはなぜ。	ハウリングを抑えるため、あえて時間をずらしています。
	防災行政ラジオを買ったが、アンテナが壊れた。支所に聞いたが修理ができないという。 情報を聞くことできない状況なので、なんとかしてほしい。	防災ラジオの管理・修繕は購入者が行うことで購入していただいたものであり、故障に関する問い合わせは、各総合支所、防災課へお願いします。 購入業者に修理可能か確認してお知らせすることとしています。
農業振興	国の描く農政は農地集約、法人化などであり、個人の農家は対象外となっている。 そのため農家の若者は未来像が描けず、引きこもりも多いが。 また、今後、田の草刈りと揚排水をどう維持していくのか。兼業農家なくしては考えられないが。	どの地域でも高齢化で「農地・水」が難しくなってきた。今後の環境維持には機械導入補助やオペレーターの養成など、市と一緒に取り組んでいくように思います。

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
木質バイオマス	もくもくランド施設改良事業とは木質バイオマス発電所のことか。	その通りです。しかし、計画では 7 月頃から工事着手ということでしたが、入札不落が続いて中断している状況です。年度内完成は難しい状況です。
	いずれは建設するのか。	今後、産業経済部での検討課題です。国からの補助を利用できる事業だからと拙速に進める事業ではないのではないかと考えています。 ちなみに建設すれば、500 万円分の電力はつくれるが、年間維持費として 2,000 万円かかっていくことになります。
	木質バイオマス発電所ができれば、もくもくランドにとり良い宣伝材料になるのではないか。	発電所内部を見学できない、いわば閉鎖的な設計となっているのも問題だと思います。
防犯灯	市内の防犯灯がLEDに変わると聞いたが、いつ工事が始まるのか。	切り替えの工事は平成 25 年 6 月から着工しており、25・26 年度の 2 年間で計 6,445 基の整備が行われます。 今回の対象は 40 ワット防犯灯で、25 年度 2,702 基、26 年度 3,743 基の整備が計画されています。 平成 25 年度工事のおおよその工区は以下のとおりで、残りは 26 年度の工事予定とされています。 迫町(森、佐沼地区)、登米(寺池、日野渡、小島)、東和(米谷、錦織)、中田(石森、新井田)、石越(南郷、北郷の一部)、南方(中央部、東部)、米山(西野、桜岡)、豊里(中央部)、津山(柳津南部)
林道	10 区(黒沢地区)の山道(林道)から落石があった。市にも見てもらったが、民間所有の山なのでなんともならなかった。	森林所有者との話し合いにより解決していただきますようお願いいたします。
コミュニティ	津山町コミュニティ主催で毎年盆踊りを企画している。 祭りで使用する竹を取りに山に入って亡くなった人がいるが、市の主催ではないということで、保険は適用にはならないと言われた。 柔軟な対応を求めたい。	教育委員会では、利用者の障害等及び施設の事故に対応するために公民館施設保険に加入しています。指定管理に移行した公民館等においても、コミュニティ組織として公民館保険に加入するよう指定管理料で算定しています。 津山公民館についても津山地域振興会として公民館保険に加入しており、10 月 9 日に保険が支払われています。
防災	女川原発から津山と豊里は 30 キロ圏内である。市の避難計画はどうなっている。	避難計画はまだつくられていません。津山と豊里の一部の問題ではなくて、登米市全体の問題として捉え、検討が必要です。
環境	放射線量を測定していて数字は分かるが、その数字は一体何なのかが分からない。分かりやすいように知らせしてほしい。	現在、広報Tomeと市ホームページでは、市内公共施設等の空間放射線量をお知らせしていますが、市内における放射線量は、1 時間当たり 0.05 マイクロシーベルトから 0.1 マイクロシーベルトと、福島第一原発事故から 3 年ほど経過し数値が下がってきています。

		この数値については、国の基本方針で示された追加放射線量の長期的な目標である年間 1 ミリシーベルト(1,000 マイクロシーベルト)、1 時間当たり 0.23 マイクロシーベルトを下回っています。 このことから、市内における放射線量の値は、健康に影響を与えるレベルではありませんのでご安心ください。 広報Tomeと市ホームページでは、測定結果表の下の欄に国の基準を掲載しているところですが、今後、基準値をはじめに紹介し、測定結果と比較しやすい情報提供が検討されています。
産業施設	もくもくランドに温泉施設はどうか。	提言として拝聴する。
総合支所	津山地区に議員がいなくなり、要望等を伝えることが難しくなっている。支所に道路や河川について相談に行くと、それは国、県の管理だからと言われる。 市民にとり、どこが管理しているのかなどということとは関係ないと思う。きちんと繋いでほしい。	要望として担当部署に伝える。
集会施設	集会所の管理を地域に求められているが、運営にお金がかかるならいらぬというのが本音だ。	担当部署に伝える。
環境衛生	ゴミ出しでルールを守らない人がある。どうしたらいいのか。	市では、ごみの種類別の収集日時やごみの分け方等のルールについて、ごみ収集カレンダーを毎年 3 月に各戸配布し、市ホームページでも掲載しています。 また、各町内会では、設置した集積所のカギの開閉時間など町内会内での利用・排出ルールのもと管理して頂いています。 さらに、市内の小学校 4 年生の社会科授業の中ではクリーンセンター見学があり、環境教育やゴミの出し方について、家庭まで広く浸透するよう啓発活動が行われています。 しかしながら、種類別に分別しない、収集日時に出さない、ポイ捨てなどルールを無視する方も見受けられますので、議会としても、現在の取り組みを一層充実させながら、市民の皆さんとともに環境美化意識を向上していく議論を深めていきたいと考えています。
議会意見交換会	市民の参加が少ないのは残念だが、今日の意見交換会の内容は有意義だったと思う。 一年前に埼玉から登米市に移り住んだ。登米市の人口は 8 万 5,000 人だが、実際は 5・6 千人規模の町と何ら変わらない感じがする。	意見として拝聴する。

新田公民館 11 月 12 日(火)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
定員適正化	定員の適正化計画について、どのくらいが適正であるか。また、職員の人材育成についてどう考えるか。	定員適正化の目標としては、総務省提供の指標を基に算出した 828 人を目指しています。 職員の人材育成については、限られた職員数により効率的な行政運営と質の高い行政サービスを行える人材育成が必要と考えます。
消防・防災	7 月 26 日の大雨により、北方泥内地区の排水機場では、排水が追いつかない状況から、地元消防団を要請し対応していただいた。翌日、市役所職員から「稲の冠水ぐらいで、消防団を要請しないでほしい」と言われ、「当地区には、汚染稲わらの保管ハウスがあり、冠水を心配して要請した」と話した。職員には、せめて保管場所の位置、現場の実情を理解してほしい。	災害等緊急時にやむを得ないと考えますが、基本的に消防ポンプでの農地の排水については故障の原因となることから行わないこととされています。 今後も実施しない方針とのことであり、ご理解をお願いいたします。 汚染稲わらの保管場所の浸水対策については、大雨により浸水が想定される場合は、放射線遮蔽用土嚢の切れ目の調査用出入口を土嚢で積み上げ保管庫内部への浸水を防止します。
放射能対策	十五丸地区では、10 月 25 日で 2 年の期限が過ぎた。先の説明会で、「地区民の意見として、約束(2 年)は守ってほしい」と要望したが、市から保管の延長を要請された。 住民の不満が地域に充満しており、処分にかかる行程表と保管期限を明確に示すよう、議会として、本気で取り組んでほしい。	特別委員会を設置し、議会として国に意見書、県に要望書を提出しています。早期に解決されるよう引き続き働きかけていきます。
	汚染堆肥についても早急に対策を講じてほしい。	汚染堆肥や汚染牧草等の一般廃棄物にあっても、指定廃棄物と同様に国が責任をもって処理をするよう、働きかけていきます。
	農業公社から委託され、稲わらの保管作業にあたったが、長期の保管は劣化により新たなラッピング作業が必要になる。早期の処分が必要だ。	要望として担当部署に伝える。
	稲わら保管場所付近の放射線測定について、区長に結果が届くが、その内容について尋ねると答えることができない。 測定内容を理解している職員が来てほしい。	要望として担当部署に伝える。
	測定員がたびたび交代する。 地域では、それだけ体に影響があるのでは、と不安視している。	意見として担当部署に伝える。

環境衛生	アメリカシロヒトリを集落の協働作業で駆除作業をしたが、3 日経っても効き目が無かった。 薬剤の購入に 70 数万円も予算化しており、効果のある薬を準備してほしい。	アメリカシロヒトリ駆除に使用している生物農薬は、農作物などに影響なく、蛾の幼虫に効果のある環境にやさしい農薬です。 しかし、遅効性で若齢幼虫の時には効果がありますが、成熟幼虫になると低下しますので、適期に散布する必要があります。 有機リン系殺虫剤などの農薬は即効性ですが、人の健康や環境などへの影響が不安視されることと、農薬取締法で農産物に対しては登録農薬のみの使用となるため、アメリカシロヒトリ駆除での使用は農産物への影響も(登録農薬外となる危険性が高い)危惧されます。 このことから、今後とも、人や環境、農産物への安全性を確保するため、適期に生物農薬の散布ができるよう発生状況を把握し、市と連携して取り組みを進めていきます。
	アメリカシロヒトリ駆除の情報を市民に分かるよう広報してほしい。	本年度においては、4 月に駆除方法チラシの全戸配布、7 月上旬に登米コミュニティFMで駆除の周知、8 月下旬と 9 月上旬には行政防災無線での駆除の呼び掛けが実施されましたが、捕殺駆除時期が明確に伝わらなかったことから、大量発生を抑制できませんでした。 市では、配布チラシを再検討し、幼虫の発生など生態の説明と、駆除時期について分かりやすい保存版のパンフレットを作成し、毎戸配布を行うとともに、発生時には防災無線や登米コミュニティFMを使用し周知していく考えです。 また、6 月の第 1 化期の発生までに、各町域で早期駆除の説明会を、区長会や公衆衛生組合連合会において行い、地域ぐるみで駆除する取り組みが予定されていますので、議会としても、この取り組みが徹底されるよう推進に努めます。
	アメリカシロヒトリの駆除に関する迫庁舎前での、区長、衛生組合長に対する説明会で、説明者の声が聞こえなかった。 ハンドマイクの使用を促したが、聞きいれられなかった。	当然のご意見として、市担当部署へしっかりと伝える。
防災	防災上の深井戸の活用について水道の配水ブロック化も有効だが、地域にある深井戸を活用しては。	水質や電源の課題もあり、どのように活用できるか、実態調査、検討したい。
農業振興	減反の廃止など、農業が大きく変わろうとしている。今後の農業の方向性についてどう考えるか。	農業の生産性だけでなく、多面的機能をいかすために、集落営農を充実拡大していくことも一つの方法です。
	今後の農業について、集落単位で取り組むいい機会である。市とJAが一体でリードしてほしい。	要望として担当部署に伝える。

道路整備	新田倉崎の市道、通称「新屋敷坂」について、事故も起きており危険なので早く改良してほしい。	要望として担当部署に伝える。
用排水路	震災により、農道や用水路の沈下による逆流や通水が発生している。改良区と一体で、復旧できないか。	要望として担当部署に伝える。

上沼ふれあいセンター 11 月 12 日(火)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
財政	国保税が 1 世帯当たり 2 万円上がっている。消費税も上がると大変になる。交付税もこれから一本算定になり、今までより 50 億円少なくなるということだが、どう考えているのか。	今後、歳入規模に見合った額へと財政規模を縮小するため、行政運営の効率化や定員適正化など、行財政改革の取り組みを引き続き実施していく必要があると考えます。
議員報酬	財政が苦しければ、議員の給料を減らしてもらいたい。市の職員も、平均 550 万円もらっているので減らすべき。	議員報酬、人件費についてはこれからも真剣に取り組んでいきます。
下水道	公共下水道は、これからは合併浄化槽にした方がいいのではないか。	提言として拝聴する。
道路整備	佐沼の町は都市計画を考えて作られているのか。 裏道に入ると、車がすれ違えないような狭い道路が多い。	道路の両側に宅地、建物が連続している場合が多く、住宅移転等のため事業費が膨大となることなどから、拡幅改良がなかなか進められない現状にあります。
新庁舎建設	市役所がヨークベニマルの跡地にできると聞いているが。	新庁舎建設については、まだ何も決まっていません。
公共施設	公共施設類似施設の統合計画は。	登米市公共施設適正配置計画について、現在、検討委員会で、検討されているところです。
協働のまちづくり	協働のまちづくり計画は 2 年間で作るようにということで、上沼地区でも全員にアンケートをとってまとまりかけてきた段階だが、どれくらいの規模で考えているのか。	部門ごとに、夢のある計画を作っていただきたい。地域の特性にあった計画であれば問題ないと考えます。
放射能対策	放射能の測定で、米川地区は高い。除染はしているのか。	空間放射線量の測定値は、国の基準以下で推移しているが、子供が通う米川小学校と聖マリア保育園は除染しました。
	汚染稲わらの測定は公表されていない。公表すべき。 米川のきのこは 800 ベクレルもあった。子どもたちだけでも検査しておくべきだったのではないか。	測定結果については、市のホームページで公表しています。子供たちの健康検査は要望として担当部署に伝えます。
防災	指定避難所の再生可能エネルギー導入事業は。	市内の集約的避難所等のうち 15 施設に太陽光発電及び蓄電池を設置するものです。
病院事業	上沼診療所は今建てているが、いつから始まるのか。	新築工事は順調に進捗しており、平成 26 年 4 月開所予定です。
	奨学金を受けている医学生は、義務を果たしたら、他のところに行ってしまう。残る人は、医者の子どもだけ。利用されるだけではないか。	奨学金制度は、医師の招へい対策の補完的な事業ではありますが、必要勤務年数経過後においても、市立病院に定着してもらうよう病院経営に努めていく必要があり、議会としても登米市に残ってもらえるよう働きかけを行っていきます。

	市民病院はあまりにも赤字が多い。救急病院になっても、脳神経科もない。 夜急患で行くと、夜間診療所よりもサービスが悪い。それだけお金を使っているのなら、もっと別の場所に入りやすい病院を作った方がいい。 大崎・石巻病院に行きたくても、いったん市民病院に行かなくてはならない。救急なので、すぐ行けるようにしてもらいたい。	当直体制については大学病院から応援をいただきながら医師1名体制で行っている現状ですが、より良い医療を提供できるよう鋭意努力しているところです。 また、接遇向上への取り組みを徹底させ、市民の皆様から信頼される病院を目指しています。 高度で専門性の求められる症状に関しては石巻赤十字病院や大崎市民病院などとの機能連携をより確実なものにし、救急体制の充実を図っていきます。
	医者が集まらないというが、集まっている病院は研修医制度で集めている。市民病院は努力が足りない。	市民病院では東北大学病院や仙台医療センターの臨床研修協力病院として、研修医を受け入れており、今後も継続して研修医の受け入れを行うこととしています。
	米谷病院に、産婦人科・小児科を設けてほしい。	産婦人科の開設は、米谷病院に限らず、登米市病院事業としての大きな課題であり、現状では、産婦人科医師の招へいが困難な状況が続いています。 小児科については、東北大学病院から医師の派遣をいただき、一昨年までは毎週水・金2回の診療としていましたが、昨年4月からは月曜日も派遣いただくこととなり、診療日を週3回に増やし、小児科診療機会の充実・確保に努めているところです。 なお、小児科については、常勤医の招へいが難しい状況ですが、議会としても引き続き医師招聘に努めていきます。
	市民病院の内科の待合室で待たされるが、話がみんなに聞こえる状態。個人のプライバシーが守れるように個室を作してほしい。	現在、試行的に中待合室を使用せず、外待合室から直接診察室に入らせていただいています。 その結果をふまえて改修の必要性を判断するとされており、議会としても改修の必要性を検証したいと考えます。
街路灯 防犯灯	街路灯・防犯灯を設置してほしい。	要望として担当部署に伝える。
跡地利用	上沼診療所跡地は、上沼地区で使わせてほしい。	病院事業として、再利用する計画がないことから、市長部局に所管替(元々市の所管)する予定です。
介護保険	在宅介護の補助として、5万円補助してほしい。	家族介護されている方々への慰労金としては、現在、「家族介護慰労金支給事業」として、登米市に引き続き1年以上住所を有し、要介護4又は5に相当する市民税非課税世帯の在宅高齢者であって、過去1年間に介護保険サービスを受けなかった方の介護者に年額10万円を支給する事業が実施されています。 なお、日常生活において常時特別の介護を必要とする特別障害者に該当する方に対しては、重度の障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当が支給されています。

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
放射能対策	汚染稲わらの保管場所の周りは減反になっているが対策は。	放射線量は低レベルであり、農作業への影響はありません。
下水道	下水道のインフラ復旧の仕方や管理の仕方を考えて欲しいが。	要望として担当部署に伝える。
跡地利用	高等学校等跡地利用は、どのように考えているのか。	米山高校の跡地利用については、まだ決まっていません。
指定管理	指定管理制度について、昇給がないのは、持続性がないのでは。	担当部署に伝える。
補助金	地区内の掲示板・ごみ集積所について、補助制度がないか。	掲示板については、合併前の旧町で設置したものや、各行政区等が主体となって自主財源や宝くじ助成事業等の補助事業を活用し設置したものが全体の 6 割を占めるなど、経緯経過や設置状況が異なる状況にあります。 また、利用状況も行政からの情報のみならず、町内会や行政区が作成したものなど、広く地域住民への周知を目的とした様々な利用がされています。 このため、市が主体となり掲示板を整備するのではなく、地域住民の情報伝達や地域づくりを進めるうえでの必要性等から、新たに行政区が掲示板を設置する場合の補助制度等について、今後検討します。 なお、協働のまちづくり地域交付金を活用して掲示板を作成している地区もあります。 ごみ集積所については、生活環境を清潔に保持するため、集積所を設置する行政区に対し予算の範囲内で補助金が交付されています。 設置費用が 6 万円までは全額、6 万円を超える場合、超える部分の 1/2 を加算した金額で上限を 9 万円とする補助です。 制度につきましては、毎年家庭に配布している「ごみ等収集カレンダー」及び「市ホームページ」によりお知らせされていますので、補助内容をご検討のうえ、ご活用をお願いします。
施設管理	施設について、迫町だけが優遇されているが、なぜか。	特定の町域のみを優遇しているものではありませんが、老朽化した施設が多いためであると考えます。
職員人事	市職員技術系の人事配置についてよく考えて欲しい。	担当部署に伝える。
総合支所	行政区から要望をしても、すぐ帰ってこない。支所から経過報告などあってもいいのではないか。	担当部署に伝える。
集会施設	小学校跡地の集会施設をリフォームしたいが助成はないか。	集会施設のトイレを水洗トイレに改造する際の補助金はありますが、集会施設のリフォームの助成、補助はありません。 なお、集会施設新築の際は「登米市集会施設整備事業補助金」があります。

体育施設	パークゴルフ場は、どこに建設する予定か。	現在、3カ所の建設要望が出ております。議会としても現地を調査しながら市と協議を進めます。
広報紙	市議会広報紙は、左開きにならないか。	今後、検討して見やすい広報紙を目指していく。

豊里多目的研修センター 11 月 12 日(火)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問 ・ 要望等	回 答
クリーンセンター	新たなクリーンセンター建設について、住民への説明がない。	新たなクリーンセンター建設については、現在、施設の処理方式検討委員会が立ち上げられ、登米市に相応しいごみ処理方式が検討されています。 その処理方式は本年度中に決定され、来年度の早い時期に、市では建設場所を含め説明会を開催する考えです。議会としても、適切な対応を求めています。
企業誘致	小学校跡地への誘致工場の経過説明をしてほしい。	肝心の冷凍庫建設が進まず、予定どおりにいけないのが現実です。
定員適正化	財政難を理由に人員削減だけでは困る。	適材適所の人員配置により、効率的な行政運営を目指し、定員適正化を実施しています。
環境衛生	指定ごみ袋の値段が高い。	市では、平成 9 年 4 月から、県内で初めてごみ袋に処理手数料を賦課するごみ処理の有料化制度を導入して、資源ごみは無料、一般ごみの処理については有料としています。 この制度は、財政負担の軽減ばかりでなく、公平性の観点から各家庭からのごみ排出量に応じたごみ処理に対する価格付けとなっており、指定袋を購入することによってごみ処理費用の一部を負担していただくとともに、資源ごみの分別排出に努めていただくことで、ごみの減量化を推進していくものとなっています。 登米市の場合、40 リットル入りの指定袋は、1 枚 50 円で販売していますが、製造、販売に係る経費を除く 1 枚当たり約 34 円相当がごみ処理経費に充てられています。 県内では、ごみの有料化は、仙台市が平成 20 年 10 月から、仙南広域行政事務組合が平成 24 年 7 月から実施しておりますが、本市の 40 リットル入り指定袋は 1 枚 50 円、仙台市の 45 リットル入り指定袋は 1 枚 40 円、仙南広域行政事務組合の 45 リットル入り指定袋は 50 円となっています。それぞれ処理費用の相違や袋作成枚数の関係などから単価の開きがあります。 なお、他の自治体等でも、ごみの袋を指定しておりますが、これはごみの有料化を行わないで、袋の実費相当の金額で販売されているものです。議会としても、市が取り組む「ごみの有料化」について、今後とも実態を調査し検討していきますので、ご理解をお願いいたします。
道路整備	豊里大橋の歩道整備はいつ。	市では県道河南米山線の道路改良を含めた豊里大橋の歩道整備について、機会を捉え県に強く働きかけています。

	豊里病院前の市道が壊れ、危険である。早急に整備をしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
納税	国保税を個人別に納付できないか。	国民健康保険税については、世帯主が納税義務者となっているため個人別に納付することはできません。
市営住宅	市営住宅の政策空き家にソーラー機器を設置しているが。	住宅（入居中）の屋上部分に設置を確認しました。市では、入居者へ事実確認したうえで、所要の手続きについて指導することとします。
跨線橋	JRの跨線橋いつ完成するのか。	宮城県に確認したところ、平成27年3月の供用開始に向け鋭意工事を行っているとのことでした。
指定管理	頑張った甲斐がなくなるので、指定管理料の残金を返さなくともいいようにしてほしい。	公民館の指定管理料は、精算方式を採用していないため、残金は繰越金として、翌年度の事業費へ充当できるよう取り扱われています。
除草	旧北上川の川前道路、法面の除草をしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
農業振興	激変する農業問題をJAとよく話し合い支援してほしい。	要望として担当部署に伝える。
除雪	除雪をもっと早くしてほしい。通学路の歩道に除雪車の排出した雪が堆積している。	要望として担当部署に伝える。

登米公民館 11 月 13 日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
議会意見交換会	1 班ではこれまで 4 力所で意見交換会を開催しているが、各会場それぞれ何人の参加者があったのか。	森地区 4 人、錦織地区 7 人、北方地区 6 人、津山地区 7 人でした。全体としては 10 月開催分では 10 力所 74 人でした。
原発	原発賛成か反対か議会の見解を聞く。 原発を止めろと強く要望する。	登米市としては、また、議会も含めて女川原発の再稼働は認められないという立場です。既に各関係機関に意見書も送付しています。
放射能対策	汚染稲わらはたとえ燃やしたとしても汚染が無くならない。 大型トラック 10 台に汚染稲わらを積み込み、首相官邸、または国会前の広場に持って行ってはどうか。また、汚染された地域に大臣達が住むように訴えるべきだ。	県内で発生した汚染廃棄物は県内での処理とされています。
病院事業	電子カルテを登米診療所に導入すると、登米診療所の診察券で登米市民病院も受診できるようになるのか。	電子カルテシステムを導入しても、病院ごとに患者ID(カルテ番号)が違うので、当面は病院ごとの診察券で受診することになりますが、患者さんの利便性を考慮して、共通化する等の検討が進められています。
道路整備	県道がつぎはぎだらけになっているが、市の改修の計画に入っているのか。	県道は市の計画には入っていません。
財政	地方交付税が減額されていく中、議会としてどのように考えているのか。	定員適正化による職員の削減ということになります。施設の指定管理を進め、正職員数を削減していく必要があります。類似施設の統廃合も考えていかなければなりません。
農業振興	減反と転作についての報道が目につくが、登米市としてはどのような対策を考えているのか。 今のうちに検討しておかないと様々な問題が発生すると思うが。	減反政策の廃止が既成事実のように報道されているのはどうかといった社説が農業新聞で読みました。 市としても、議会としても、市の基幹産業である農業をどう守っていくか、持ち帰り関係部と検討し、対策を考えたいと思います。
公民館	合併前、公民館が1町1館の町が3 町あった。旧中田町では先駆けて公民館を指定管理者制度に移行させていた。中田町の取り組みをモデルとし、もっと早く指定管理者制度を導入すべきではなかったか。 また、移行後施設の維持管理で人件費がいくら安くなったのかを広報で知らせるべきではないのか。	公民館の指定管理は、地域に根ざした活動を展開する地域コミュニティ組織に、非公募により導入していますが、導入に当たっては、そのコミュニティ組織の環境が整った地域から行っているため、このような導入時期に至っています。 なお、移行による人件費の節減等については、関連資料として登米市HPの「第 2 次行財政計画実施計画の実施状況」中、「定員管理の適正化による削減」が掲載されていますが、内容を広報するよう市に要望していきます。

定員適正化	職員削減もいいが、一方で補充も考えなくてはならないのでは。	一人の職員が抱える仕事も増えるなど、定員適正化の弊害もでてきています。 定員適正化は継続し進めますが、来年度以降は新規採用人数を増やして対応していく考えです。
	職員削減してサービスも低下するのでは、「何をやっているのだろう」という気持ちになる。	意見として拝聴する。
文化財	尋常小学校は国の文化財指定になっているが、ただ見せるだけの施設なのか。 動態保存という考えもあるが。例えば東久留米の学校では喫茶店があった。	国指定重要文化財であり現存建造物を維持管理し、後世へ保存伝承していくことが大切です。 喫茶コーナーの設営には改修が伴うため難しいと考えられます。なお、隣には「遠山の里」がありますので、そちらの活用をお願いします。
工業団地	工業団地の設置計画があるが、どんな企業が来るのか。	進出企業は決まっていないが、市の工業団地は全て完売しているので、新たに工業団地の造成が必要となったものです。
文化施設	能舞台をもっと活用できるよう考えてほしい。	他に活用できないか、現在使用している謡曲会や指定管理団体と協議が必要と考えています。
納税	納税調書は丁寧に作ってほしい。	担当部署に伝える。
国政	地方交付税が減額されていく中、総理大臣以下の給料を下げると要望する。	要望として拝聴する。
企業誘致	人口減少が進む中、工場誘致を推し進め人口増加に向かってほしい。	要望として拝聴し、政策提言につなげていきたい。
災害公営住宅	登米地区に無人となっている医師住宅がある。災害公営住宅として使うことは考えられないものなのか。特に沿岸部の被災者のためにも考えてほしい。	提言として拝聴し、政策提言につなげていきたい。
6次産業	石越地区でヤーコン栽培が盛んだと聞いている。 岩手県ではヤーコンをジュースに加工して販売しているが、登米市でも取り組んではどうか。	担当部署に伝える。
市政	関東から友人が来た。いい町だと言ってくれたが、それにしても面積が広いよねと言われた。 他市との比較もいいが、登米市独自の政策での対応が今後求められていくと思う。	担当部署に伝える。
議会 財政	国会議員を減らして地方議員を増やすのが本来の姿ではないのか。また、地方交付税の算定基準を変えるべきだと思うが。	提言として拝聴する。

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
放射能対策	公共下水処理場敷地内に汚染稲わらが置いてある。最終処分場の早期決定を働きかけて頂きたい。	特別委員会を設置し、議会として国に意見書、県に要望書を提出しています。早期に解決されるよう引き続き働きかけていきます。
	放射能測定器と測定員を総合支所ごとに設置してほしい。	要望として担当部署に伝える。
道路整備	新上新田 6 号線の道路改良はいつから始まるのか。道路の状況が悪いので定期的にローダーをかけてほしい。	要望として担当部署に伝える。
消防施設	石越地区の防火水槽の新設箇所について予定通りの建設をお願いしたい。	当初、計画していた市有地は面積不足ということで周辺の民有地も検討されていましたが、用地決定までに時間を要することから、石越地区住民から要望があった他の場所に変更されたものです。 なお、先の整備予定地区については 27 年度以降に整備計画を図ることで検討されています。
環境衛生	毎年、春に迫川・夏川の清掃を行っている。石越地域では焼却してはだめということになっているが、中田町域では焼却を行っている。なぜ違うのか。	原発事故のセシウムの問題があったので焼却はしませんでした。
	登米市のゴミ袋は 1 枚 50 円である。栗原市や一関市と比べると高い。安くするべきでは。	市では、平成 9 年 4 月から、県内で初めてゴミ袋に処理手数料を賦課するゴミ処理の有料化制度を導入して、資源ごみは無料、一般ごみの処理については有料としています。 この制度は、財政負担の軽減ばかりでなく、公平性の観点から各家庭からのゴミ排出量に応じたゴミ処理に対する価格付けとなっており、指定袋を購入することによってゴミ処理費用の一部を負担していただくとともに、資源ごみの分別排出に努めていただくことで、ごみの減量化を推進していくものとなっています。 登米市の場合、40 リットル入りの指定袋は、1 枚 50 円で販売していますが、製造、販売に係る経費を除く 1 枚当たり約 34 円相当がゴミ処理経費に充てられています。県内では、ごみの有料化は、仙台市が平成 20 年 10 月から、仙南広域行政事務組合が平成 24 年 7 月から実施しておりますが、本市の 40 リットル入り指定袋は 1 枚 50 円、仙台市の 45 リットル入り指定袋は 1 枚 40 円、仙南広域行政事務組合の 45 リットル入り指定袋は 50 円となっています。それぞれ処理費用の相違や袋作成枚数の関係などから単価の開きがあります。 なお、他の自治体等でも、ごみの袋を指定しておりますが、これはごみの有料化を行わないで、袋の実費

		相当の金額で販売されているものです。議会としても、市が取り組む「ごみの有料化」について、今後とも実態を調査し検討していきますので、ご理解をお願いいたします。
	登米市のゴミ袋に町名・行政区・氏名を書くのを廃止した方が良いのでは。	これは、集積所を清潔に保つため、責任意識をもってごみを出していただくことを目的に行われているものです。 集積所の管理は、各地区の衛生組合長さん等に行っていただいておりますが、その集積所が、乱雑に使用されたり、指定日以外にごみが出されることのないよう役立っているものと考えています。
	栗原市ではトレイや卵のパックなどもリサイクルしている。ゴミの減量という意味でも登米市でも実施すべきでは。	リサイクルごみの回収方法に不便をかけている面もあり、改善の余地があると考えています。また、啓発活動も重要です。
子育て支援	登米市は子育ての環境が整っていないのではないかと。	議会としては、本会議での代表質問や一般質問をはじめ、議案審議さらに各常任委員会活動において、積極的な議論が行われておりますが、今後も一層の対策の充実に努めます。
納税	納税が口座引き落としになって徴収率が下がった例がある。徴収の仕方についてどう思っているか。	全体の徴収率は上がっています。さらに向上する様に求めています。
	自分の地区で納税組合の会計担当が、たまたま固定資産税の納期を忘れたことがあり、全員に督促状が送られてきたという例があった。納税組合に確認すれば分かったことである。市職員は、市民目線で職務にあたってもらいたい。	担当部署に伝える。
職員給与	登米市職員の平均年収を 300 万円に削減すべきである。	意見として拝聴する。
エネルギー	登米市として環境エネルギー公社を設立すべきである。	意見として拝聴する。
指定管理	国の方針が変わったからといって、人づくりという意味では公民館事業をコミュニティ推進協議会にまかせていいのか。	公民館への指定管理者制度の導入は、単に地区コミュニティ組織に施設の管理運営を移行するものではなく、公民館を地域の活動拠点施設として位置づけることにより、地域住民が利用しやすい環境の中で、様々な生涯学習事業の展開をお願いするもので、その運営については十分な支援体制がとられることとされています。
	石越公民館の運営費は 100 万 3,000 円である。この金額で年間の事業や人づくり、地域の活性化を図りなさいというのが現状である。ぜひ配慮をお願いしたい。	公民館の指定管理に伴う事業費は、公民館での社会教育事業を推進していく経費として算定されたものです。今後の動向については、一括交付金の創設に合わせて調整されるものと考えています。

	教育委員会との契約の中で故意または過失による事故でもコミュニティ推進協議会が責任を取るという内容が織り込まれている。責任だけ負わされている感がある。	公民館の管理運営については、施設の適正管理と社会教育事業を推進することとしており、協定書の文面は管理運営上での事故の発生時に対する項目であり、そのための対応として公民館保険に加入することとしています。
	協働のまちづくりの計画は町民のコンセンサスを得てやりたいし、時間をかけてやりたい。 さらに計画が無駄にならない様にしたいので後押しをお願いしたい。	担当部署に伝える。
生涯学習	生涯学習の先進地である静岡県掛川市にぜひ視察に行ってほしい。	情報を収集し、前向きに検討していきます。
ブランド	登米市また宮城県としてコメの新しいブランドを作っていかなければならないと思う。	提言として拝聴する。
農業振興	米の作況指数について、実際の収量とかけ離れている。 調査では選別網 1.7 ミリが使用されており、農家が使用している 1.9 ミリに変更する様、要望書または意見書を出してほしい。	要望として拝聴する。
	減反廃止の方針が打ちだされたが議会としてももしっかり取り組んでもらいたい。	要望として拝聴する。
教育	小中高生を対象に放射能教育に力を入れてほしい。	文部科学省作成の「放射線等に関する副読本」を活用しながら、適宜実施されています。
議会	議会は会派や気持ちを一つにする議員が団結してチェック機能とブレーキ役をはたしてほしい。	
体育施設	高森公園にパークゴルフ場を建設してほしい。	現在、3 カ所の建設要望が出ております。議会としても現地を調査しながら市と協議を進めます。
介護保険	介護の申請の仕方によって損をしている人、得をしている人がいる。減免措置をわかっていない人が多い。申請の仕方をパッケージにして出してほしい。	介護保険サービス利用に係る負担の軽減制度につきましては、社会福祉法人による生計困難者に対する利用者負担軽減制度や負担限度額認定制度などがあります。その対象者については、個人のおかれている状況、施設の違い等により、申請の仕方が変わってくることから、各総合支所及び福祉事務所長寿介護課において、個々に申請、相談に対応し、適時、各制度の内容・対象者等について、市の広報やはつとFMIにおいて周知が行われています。 議会としても、市に対して周知方法や手続き等について徹底されるようはたらきかけを行っていきます。
政務活動	行政視察をもっと政策に反映させてほしい。	要望として拝聴する。
	議員は政務活動費を大いに活用してもらいたい。	意見として拝聴する。

米川公民館 11 月 13 日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
定員適正化	職員の定員適正化計画はどのような内容か。	職員の数を 10 年間で 450 人減らしていく計画です。今後交付税が減らされていくので、財政をスリム化するものです。
	職員が減っていくと、市民が不便をきたすのではないか。不便さをどう実感しているのか。	行政がやる事と市民がやる事のすみわけをすることが必要になっています。何でも役所でという方向ではなくなっています。 コミュニティ組織として協働のまちづくりの計画を作ってもらおうということで進めています。協働のまちづくりはそういう事になります。 また、人件費が縮減されたことで、その分の財源が他の事業に充てられています。
新庁舎建設	支所を 1カ所にまとめたいということがあったが、新庁舎を建てるのは無理ではないか。	支所のあり方については検討中です。 また、新庁舎建設については、何も決まっていますが、建設する場合、有利な合併特例債が使えるうちに早く建てた方がいいという考え方もあります。
雇用	新しく作る工業団地の会社は、具体的に決まっているのか。 今契約社員が多く、結婚もできない状況。もっと安定した会社に来てもらって、働く場を確保してほしい。	工業団地の会社は、まだ決まっていない。働く場の確保についてはその通りだと思います。
納税医療費	消費税が 3%上がり、後期高齢者の医療費が 2 割になり大変になる。税金も上がり、支出が多くなる。その対策は考えているのか。	後期高齢者の医療費一部負担割合については、平成 26 年度以降も 1 割であります。国保の 70 歳～74 歳の方については、現在特例措置による 1 割負担を、平成 26 年 4 月に新たに 70 歳になる人から段階的に 2 割負担に戻すことが検討されています。 低所得者対策として、国では国保税軽減の基準額を引き上げ、2 割軽減・5 割軽減の拡大や高額療養費における一般所得者のうち所得が低い方の世帯限度額を引き下げる方向で検討されています。 また、市では、特定健診や生活習慣病予防対策等の健康づくりに力をいれ、医療費負担の抑制に努めています。 なお、国では、消費税率が引き上げられることによる所得の低い方への負担の影響を考慮し、市町村民税(均等割)が課税されない方を対象として、臨時的に福祉給付金を交付することとしています。 議会としても、国に対し、よりよい制度に向けて一層のはたらきかけに努めていきます。
議会意見交換会	米川地域は会合等参加率がいいのに、今回は参加率が悪い。 各種団体などあらゆる面で連携しながら、議会だけでなく、集まるよ	もっと集まるように、情報提供していきたい。

	うに工夫してほしい。 市の職員も参加して、研鑽してほしい。職員が市民に関心を持たなくなるとは困る。	
議員定数	議員が 4 人減になって、支障をきたしたか。	ともに住民を代表する市長と議会は、相互の抑制と均衡を保ちながら、議会が市長と対等な機関として市政の監視や議決した時は、市民に対して説明する責任があるという議決責任があります。 地方分権が進めば、市の自己決定や自己責任が今以上に問われることになります。それに伴って議会の責任も増していき、議会は市政の一翼として責任を負うことをしっかり認識しなければなりません。 また、市民に開かれた議会、市民の思いを市政に反映する議会をしっかりと構築することが重要です。 今は 26 人で市民のために市政活性化に全力で取り組んでまいります。
エネルギー	メガソーラー、風力発電が米川にできるという事を聞いた。どうなっているのか。	民間の合同会社が東和町米川地内の約 21ha の土地にメガソーラーを建設する計画があります。
議会	合併して 10 年目になるが、行財政計画など議員サイドからどう計画に関わっていこうと思っているのか。	議会の担う役割と責任を認識し、予算や各種計画等の事務執行の監視及び評価を行うとともに、市民の意見等を把握し、政策立案等を行うことにより各種計画に関わっていきます。
被災者支援	震災の解体費用を申請していない人がいる。まだ申請できるのか。	本市では、国の補助制度（東日本大震災に係る災害廃棄物処理事業費国庫補助金）を活用して災害廃棄物の処理、被災住家等の解体撤去が実施されました。 解体の対象については、被災建物の危険性及び早急に解体を要する観点から、大規模半壊以上の被災と認め平成 24 年度内に終わられる方を対象にすることとして申請を受け付け、国の査定で認められた物件を市が解体発注又は市の基準により精算しました。 解体支援のお知らせについては、チラシの各戸配布をはじめ広報Tome、市ホームページなどで行われ、解体申請受付については、県内自治体の状況や要望等を踏まえ、2 度にわたり期間延長され、事業については国のマスタープランに示された事業期間が平成 24 年度までであったことから、平成 24 年度に事業は終了しております。このことから、新たな受け付けはできません。 （参考：国の事業の継続について：この事業については、津波により甚大な被害を受け、災害復旧が進まない沿岸部においては、本年度においても国の事業が継続されました。）
道路整備	市内の道路改良をしてほしい。 (錦織橋・国道 346 号線)	要望として担当部署に伝える。

政務活動	視察に行ったら、それを地域に報告してほしい。地域住民に知らせてほしい。	周知方法について、検討していきたい。
まちづくり	人口減少率が高いのが東和地区。50 人出生して、亡くなるのはその 3 倍。現実は厳しい。 中心地だけでなく、まわりの地域も見捨てない町づくりをしてほしい。	東和地区は、登米・津山地区とともに、過疎地域の指定を受けており、有利な地方債である過疎債等の活用により、過疎地域の活性化のための事業を推進しています。

浅水ふれあいセンター 11 月 13 日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
病院事業	米谷病院は、今後どうなっていくのか。	米谷病院は、一次医療機関として、医療機関が少ない地域における「かかりつけ医」として重要な役割を担っておりますが、老朽化が進んでいることから、一般病床に療養病床を加えた適正規模で、敷地内に建て替えする方向で検討が進められています。
財政	市の一般会計は、赤字か黒字か。	一般会計は、黒字です。
放射能対策	汚染稲わらは、今後どうするのか。	最終処分場の早期設置に向け、議会としても国に働きかけていきます。
空き家	登米市では、空き家対策はしているのか。	空き家バンクを実施しています。また現在、空き家対策として、議会で「空き家等の適正管理に関する条例」の制定を目指しています。
介護保険	ミニデイサービスでは、以前職員がきていたが。	ミニデイサービス事業については、より多くの参加を促すべく事業拡大に向けて体制整備が進められてきています。 基本的に開催日には担当職員が同席するようにしていますが、開催日が他の地区と重なる場合もあることから、ボランティアの方々の協力も含め地域での自主的な取り組みの推進も図りながら、委託先の事業者にも事業内容の適切な対応を市では依頼しています。
補助金	ソーラー補助事業は、登米市では 100 カ所なのか。	住宅用太陽光発電システム設置補助事業は、平成 21 年度に設置件数が 100 件を超え、その後は 80 件前後で推移していますので、年間の設置目標を 100 件として取り組まれています。
教育環境	生徒の学ぶ環境をもっと良くして欲しい。	環境整備を計画的に進めるよう働きかけていきます。
環境衛生	集会所の畳を出そうとしたら、業者に出さないといけなかったと言われたが、何故か。	畳の処分については、単に古い畳を処分するのか、解体や改築に伴う処分なのか、自分で行うのか、畳屋さん等の業者の方に依頼するのかなど、いろいろなケースがあり、それにより、クリーンセンターで受け入れできる場合と、できない場合がありますので、事前に担当部署へ相談してください。
保育所	保育所の待機児童がいるが、幼稚園はいない。何故か。	保護者の就労状況によって、保育時間の長い保育所への入所を希望される傾向があります。 幼稚園においても登園日の午後 6 時まで「預かり保育」を実施しておりますが、土曜日や長期休業中(夏休み等)は未実施なので、多くの 4 歳、5 歳児が保育所に入所している状況です。平成 27 年度から新しい子ども・子育て支援制度に移行しますが、議会としても幼稚園、保育所の今後のあり方等、よりよい保育環境の整備に努めてまいります。
合併	合併して、市が得したことはなにか。	広域 4 事業(消防防災センター、きたかみ園、斎場、汚泥再生共同処理センター)や、いろいろな補助金が使えることです。

防災	災害や、事故から守ることが行政の最大の目的ではないのか。	そのとおりだと理解しています。
----	------------------------------	-----------------

吉田公民館 11 月 13 日(水)

意見交換会での質問・要望等に対する回答

区分	質問・要望等	回 答
公民館 指定管理	公民館の指定管理について、米山はモデルとされたが、中田は 5 年間の契約となるようだが、すべて統一された形になるのか。	米山地区の公民館は、公民館として指定管理者制度を導入する初めてのケースとなるため、他の公民館へのモデル的な存在として注目されました。公民館の指定管理の期間は、原則 5 年間として統一した期間が設定されています。
	指定管理について教育事務所を入れなくて、議会と話し合いをしたいがどうすればよいか。	議長宛に申し入れがあれば、対応いたしますので、後ほど調整させていただきたいと思います。
	公民館の指定管理に米山でも 1 人補充してもらいたい。	市内の公民館及びふれあいセンターの職員数は、原則として館長 1 名、事務職員 2 名でお願いしていることから、補充は難しいと考えます。
放射能対策	稲わらを保管しているが、場所や数量を把握しているのか。	稲わら全量について場所・数量を把握しています。
	稲わらを割増して報告をしている状況があり、確認してほしい。	要望として担当部署に伝える。
災害公営住宅	災害公営住宅の 32 戸については、建設推進協議会で本年度中の完成を目指しているようだが、米山町の商工組合に平屋 2 棟の話があり、その後進展がないが、どの程度まで進んでいるか伺いたい。	南元丁に 10 戸、大綱に 22 戸を建設することとしており、南元丁は構内道路などの造成工事を終え、昨年の 12 月初旬より建築工事に着手しています。大綱は、時間を要していた開発行為の許可が 1 月初旬の予定で、許可後速やかに造成工事、建築工事に着手することとしています。
	災害公営住宅は、地元の木材と職人を使うのか。	迫地区の 32 戸は、地元事業者で構成する「登米市木造災害公営住宅建設推進協議会」により、地元の産材を活用し、地元の職人の方々により整備します。中田・東和・豊里地区の 28 戸については、建築業者への工事発注で、県産材を 40%以上使用し、地元の雇用については、市内在住者を雇用に努めるよう、施行業者をお願いしています。
病院事業	病院での死亡の記事がある。良い医師もいるが少ない。病院の在り方は良いと考えているか。	市の病院事業は、自治体病院としての使命を自覚し、患者さんに寄り添い心と体を癒す医療を目指しています。議会としても、今後ともより良い病院のあり方を目指して議論していきます。
	市の奨学金で若い医者が勤務しているが、若い医者を指導する医者がいるのか。また、期間が過ぎれば他の病院に行くのではないかと。良い指導者がいないので病院を離れては、奨学金は何のためのものか。	奨学金制度は、医師の招へい対策の補完的な事業であります。必要勤務年数経過後においても、市立病院に定着してもらうよう病院経営に努めていく必要があります。議会としても登米市に残ってもらえるよう働きかけを行っていきます。
	病院事業管理者に医師がなってどう変わったか。	病院事業管理者が医師となったことで、その人脈により東北大学病院等との強い繋がりが確保されるなど、効果的な医師の招へい対策が可能となるとの医療局の見解であり、その言明のとおり確実に医師招

		へいにつながるよう真剣な対応を求めています。
	住民の内 60%は市外の病院に行っている。改善はされているのか。	市外の医療機関に依存している割合が高い状態が続いていますが、小児や産科医療に見られるような機能の集約化が他の診療科においても進められている一つと考えられておりますので、大崎市民病院や石巻赤十字病院の高度急性期病院との機能分担と連携により医療の確保に務めています。
	内科の診察室はカーテン越しで、プライバシーが守られていない改善を。	現在、試行的に中待合室を使用せず、外待合室から直接診察室に入っていただいています。その結果をふまえて改修の必要性を判断するとされており、議会としても改修の必要性を検証したいと考えます。
	安心して病院に行けるように発信してほしい。	広報などで病院の情報を積極的に発信するとともに、対話集会等の開催の検討が進められています。
保育所	米山保育所が汚いことを教育長に話したが、伝わっているか。	市の担当部局へ、教育長から市の担当部局へ伝わり、ただちに園内の清掃状況を再チェックし、改めて毎日の清掃が徹底されております。
跡地利用	米山高校の跡地はどうするのか。	米山高校の跡地利用については、まだ決まっていません。
合併	合併して良くなった分、悪くなった分は。	合併してサービスがいき届かなくなりました。広域4事業が進んだことは良くなった点です。
体育施設	パイロット山にパークゴルフ場をつくってほしい。	現在、3カ所の建設要望が出ております。議会としても現地を調査しながら市と協議を進めます。
	総合グラウンドをつくってほしい。	市の総合運動場の整備については、今後、市の施設の適正な配置を考えた中で検討していきます。
被災者支援	南三陸町等で暮らしたくないという方の受け入れをしてほしい。	仮設住宅の方々に対しては、南三陸町と連携のうえ提供可能な保健福祉サービスを必要に応じて行っています。
公共施設	公共施設の便座を暖房にしてほしい。	福祉施設はその性質上トイレの洋式化が必要であるとともに、便座の暖房についても早急に改善されるよう市に申し入れたい。
農地法	農地法で簡単に転用できるように、市の取り組みをしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
道路整備	はんとく苑前の市道の整備をしてほしい。	要望として担当部署に伝える。
指定管理	平筒沼の you you 館を開放してほしい。平筒沼の管理を一本化して指定管理にした方が良いのでは。	要望として担当部署に伝える。
防犯灯道路整備	県道古川登米線の善王寺地区の整備をしてほしい。併せて、歩道や防犯灯も設置してほしい。	要望として担当部署に伝える。
市民サービス	合併して市民サービスが悪くなった。改善してほしい。(例えば、職員が変わったばかりで分からない。死亡届の受理ができない日直等)	日直業務については、平成 24 年 5 月から市内業者への業務委託となっています。戸籍届出等の受付は、マニュアルに基づいて行われておりますので、今後なお一層、適正迅速な事務手続きが行われるよう指導強化と、職員間にあつては、情報の共有化に心掛けるとともに研修等による資質向上に努めるよう、市に対して申し入れていきます。

